

# 高岡じゅん子

たかおか



平和と環境を守り  
暮らしの視点で福祉を充実

- 平和と人権は民主主義の根幹
- 市民とつくる生命を守る環境
- 誰もが自分らしく暮らせる世田谷



● 環境  
カウンセラー  
● 羽根木在住



世田谷・生活者ネットワーク

世田谷・生活者ネットワーク 区議会議員 高岡じゅん子の活動を紹介します。

【編集・発行】2023年4月1日 生活者せたがや204号  
世田谷・生活者ネットワーク代表/山木きょう子 〒154-0017 東京都世田谷区世田谷1-16-16 安藤ビル301  
TEL: 03-3420-0737 FAX: 03-3706-1744 <http://setagaya.seikatsusha.me>



## 全ての命を大切に～平和・環境・福祉～

私は、子どもたちと一緒に環境学習をすることから地域活動をはじめ、この子どもたちに少しでも良い環境を手渡したいと区議になり12年目になりました。最近では100年に一度の集中豪雨が毎年のように報じられ、気候危機は待たなし。2023年からの4年間は、地球温暖化とそれに伴う資源争奪戦争や食糧不足などを食い止めるための最後のチャンスです。命を守る環境対策を、特に力を入れ進めます。



全ての人の人権が守られている社会でなければ、本当の平和な社会とは言えません。子どもから高齢者まで、障がいがあってもなくても、きちんと自分の意見が聞かれ権利が守られ、全ての命が大切にされる世田谷を目指します。



- 1960年 2月7日渋谷生まれ
- 1978年 立教女学院高校卒業
- 1982年 筑波大学 第2学群比較文化学類卒業
- 1982年～85年 (株)ワコールインテリアファブリック事業本部勤務
- 2009年 23区南生活クラブ生協理事
- 2011年 世田谷区議会議員 初当選、災害・防犯・オウム対策等特別委員会などで活動
- 2013年 文教常任委員会などで活動
- 2015年 世田谷区議会議員2期目当選、区民生活常任委員会などで活動
- 2017年 福祉保健常任委員会などで活動
- 2019年 世田谷区議会議員 3期目当選、福祉保健常任委員会などで活動  
「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」成立
- 2021年 区民生活常任委員会などで活動、温暖化対策地域推進計画やプラスチックのごみの分別などについて提案
- 現在:区民生活常任委員会、DX推進・公共施設整備等特別委員会所属
- 環境省登録環境カウンセラー(市民部門)、宅地建物取引士
- 読書、手芸、自然観察活動
- 家族構成:夫、息子2人



高岡じゅん子  
プロフィール



高岡じゅん子さんを応援します!

- 大熊由紀子(ジャーナリスト・大学院教師) 中野晃一(上智大学教授)
- 三木由希子(NPO法人情報公開クリアリングハウス理事長)
- 皆川満寿美(中央学院大学准教授) 竹村英明(市民電力連絡会理事長)
- 増田和美(生活クラブ東京理事長) 保坂展人(世田谷区長)
- 大河原雅子(衆議院議員) 西崎光子(元都議会議員)

# 平和と環境を守り暮らしの視点で福祉を充実



## 平和と人権は民主主義の根幹

差別や人権侵害のある「非平和」を世田谷から解消していきます。ジェンダー平等、障がい者差別解消、ヘイトスピーチ禁止、LGBTQ理解促進など、全て人権問題です。困っている人を見過ごしにせず、区民の声が生きる区政を目指します。

- 「せたがや未来の平和館」から平和を発信、平和人権教育の推進
- 全ての子どもの学ぶ権利、食べる権利、遊ぶ権利、意見表明の権利を保障
- 住民自治を進め、対話による参加型の区政運営を実現
- 「日本国憲法」に掲げる基本的人権、平和主義を遵守



推薦人 保坂展人 (世田谷区長)

高岡じゅん子さんは、2011年4月の選挙で共に当選して、区議会議員と区長として、一緒に仕事をしてきました。区議会では、「人権」について冷静かつ的確に説得力がある問題提起を続けられました。格差社会が広がり、社会が不安定化する中で高岡さんの存在は、世田谷区の隅々を照らす灯台の役割をしてきました。子どもたちのやさしい味方、高岡じゅん子さんを応援します。



## 市民とつくる 生命を守る環境



気候危機対策は区民が主体になって進めなければ、有効なものになりません。幅広い区民参加による「気候市民会議」を実現し、一步一步カーボンニュートラルを目指します。暮らしの視点、福祉の視点を含んだ災害対策で、命を守る仕組みづくりを進めます。

- 住宅の省エネ化と、再生可能エネルギーの利用への補助
- プラスチックごみの使用抑制と分別を進め、焼却のみの処理から脱却
- 世田谷区の公共施設はZEB化と国産材の積極的利用でCO2削減
- 雨水利用を促進したグリーンインフラの街づくりとみどりの保全
- 女性の視点を生かした災害対策で災害関連死ゼロ



## 高岡じゅん子が実現したこと

- 「認知症とともに生きる希望条例」制定
- 気候温暖化対策のCO2削減目標を27%から62%に
- 「障害理解の促進と地域共生社会の実現を目指す条例」制定
- 性犯罪被害者支援のための相談窓口開設
- 世田谷区児童相談所開設
- 香害に対する啓発の推進
- プラスチック分別に向けた審議会開始



## 誰もが自分らしく暮らせる世田谷

誰もがそれぞれの困難や不安を抱えている時代です。世田谷区28か所のまちづくりセンターが、区民にとって気軽に行ける相談先として役立ち、孤立を防ぐ「くらしの保健室」になることを目指します。

- 家族介護が孤立しないように、ケアラー支援条例制定
- 「認知症希望条例」を活かし、アウトリーチ型の相談支援
- 正規・非正規などの雇用形態にかかわらず、賃金や労働条件を保障され人間らしく働けるしくみづくり
- 子どもの声を聴き、子どもの最善の利益を守る児童相談所の体制の充実
- ひとり親、高齢者をはじめとする住宅確保困難者への支援



推薦人 増田和美 (生活クラブ東京理事長)



貧困や格差の深刻化、超高齢社会、食糧危機、気候危機とコロナ・パンデミックなど様々な社会的経済的な課題が山積みです。社会や政治の流れをかえるには、地域の生活課題を市民と共に考え、地域に根差した政策づくりが必要です。誰もが安心して暮らせる社会づくりを進める生活者ネットワークを応援します。

